

お客さま各位



2021年10月26日

株式会社グーン

横浜市中心企業タッグでフィリピンのゴミ問題解決へ

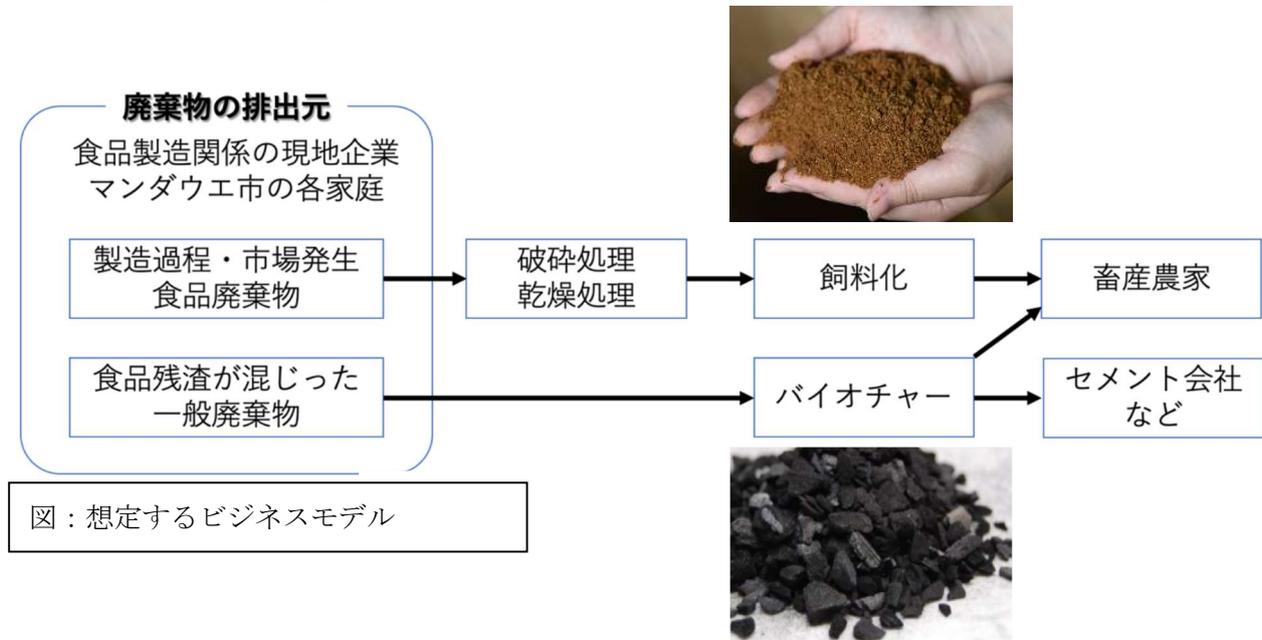
～JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業の採択～

横浜市とフィリピン国セブで産業廃棄物の燃料化に取り組む(株)グーン(神奈川県横浜市金沢区)と、横浜市内で食品系ごみの飼料化実績を有する武松商事(株)(神奈川県横浜市中区)が共同提案した「フィリピン国食品廃棄物を活用したバイオチャー及び飼料製造に関する案件化調査」がJICA(国際協力機構)の”中小企業・SDGs ビジネス支援事業”2021年度第一回公示に採択されました。

フィリピン国内では焼却処理が進んでおらず、リサイクルに向かないごみは従来埋め立て処理されています。本事業は現在埋め立て処理されている食品系のゴミや、食品が付着した混合ゴミを対象としたリサイクル事業を提案しています。

事業対象国・地域 フィリピン国 セブ州 マンダウエ市

提案事業の概要 食品廃棄物を活用したバイオチャー(燃料、土壌改良剤)及び飼料製造に関する案件化調査。本事業を通じ、食品廃棄物などの厨芥(ちゅうかい)ごみから、バイオチャーを製造し、廃棄物燃料及び土壌改良剤として活用する。また、高品質な食品廃棄物は飼料製造を行う。このビジネス展開により、現地で活用されておらず、埋め立てられていた、廃棄物の資源化を行い、廃棄物の減容化、リサイクルルートの構築を目指す。



本件に関するお問い合わせ 株式会社グーン ブルーエコノミー研究所 担当 北井 俊樹

TEL : 045-228-8960 FAX : 045-228-8961 e-mail : t_kitai@guun.co.jp

【フィリピン国の現状】

フィリピンは約7,000の島からなる国です。近年、廃棄物問題が取り上げられており、リゾート地などで観光客が排出するごみによって環境汚染が広がってしまうことが懸念されています。

2018年4月26日にはリゾート地として有名なボラカイ島を閉鎖するなどの措置も取られました。また、フィリピンは世界でも有数の海洋ごみ排出国であるといわれています。フィリピンではきちんと管理された埋立処分場が少なく、容量を超えて埋め立てられたゴミが再び河川に流れ出すこともあります。



【株式会社グーンと武松商事 株式会社の海外支援経緯】

(株)グーンと武松商事(株)は共に、一般社団法人 YUSA (YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE) へ入会しており、2017年の法人設立当初より、横浜市と共に新興国の都市課題解決に貢献してきました。一般社団法人 YUSA とは、横浜市の国際協力事業 (Y-PORT 事業) に呼応する形で設立された横浜市内の中小企業を中心とした団体です。

さらに、2019年6月には YUSA 内部で廃棄物部会が発足し、両社とも初期メンバーとして横浜の廃棄物処理インフラの知見を用いた廃棄物問題のソリューション提案を行っています。



図 Y-PORT 事業イメージ (Y-PORT HP より引用)



図 YUSA 廃棄物部会の立ち位置

会社概要

社名：株式会社グーン (2001年3月14日設立)
住所：〒236-0002 神奈川県横浜市鳥浜町17番地2

代表者：代表取締役 藤枝 慎治
URL：http://www.guun.co.jp/